

デイトナ ケイトラ クラブ



有名ブランドが手掛ける “スーパーD's Pick”制作中

キャビンが拡大した快適仕様のスーパーキャリア。
その荷台サイズにあわせて某工場ではD's Pick仕様のロールケージを只今、絶賛制作中。

Photo / Daytona Call / T-STYLE Auto Sales 045-342-7757 www.t-style08.com

全長は短い。それだけ？
同じに見えてチョット違う。



製作途中の段階だけど、標準ボディのキャリアと比較。荷台の全長が短くなっているのは一目瞭然として、ハイルーフになったキャビンの上部など、キャリア仕様との微妙な違いが出てきそう。すべては出来上がったからのお楽しみ。



試作のパイプを作ってはつないで、バランスを見る。それを繰り返しながらマスターを制作中。マスター完成後は治具を制作することで量産が可能になる。国産自動車メーカーの純正カスタムパーツのOEMも手掛けるだけに工場内には各種パーツ制作用の治具が多く並べられている。

「スーパージムキャリア」も!!



新型ジムニーをモチーフにフロントデザインをカスタマイズするパーツもこっそり製作中。プロジェクトネームは、ジムニーとキャリアで「ジムキャリア」(スーパージムキャリア)。完成したいな本気のハナシでケイトラクラブは盛り上がっております。

写真は試作イメージです

現在、製作作業真っ最中のスーパーキャリアのD's Pick仕様。埼玉県のある工場では、D's Pickの特徴である太いパイプを使ったロールケージの寸法合わせが行われていた。標準ボディのキャリアに比べ、荷台長が短くなったスーパーキャリア。ロールケージの全長も短くすればいいかという、そんな単純な話ではない。全長を短くしたときに、ちょうどいいバランスはどこか？ 一度組んではバランスをみてやり直し。そんな作業を何度も繰り返しながら少しずつ形作っていくのだ。スーパーキャリアのロールケージ製作作業を依頼したのは、自社オリジナルのマフラーを中心に自動車メーカーのOEMも手掛ける某マフラーブランド。マフラーだけでなく、パイプ加工全般で豊富な実績を持つブランドだけに、この手のロールケージ製作もお手の物である。手際がよい、これぞ職人技で、テキパキと作業は進められていく。

使い勝手は向上したものの、キャビンが大きく、頭でつかちなスタイルが不満だったスーパーキャリア。でも製作途中ながら、ロールケージ装着ですいぶん印象が変わってくる。完成形が今から楽しみでしようがないのである。

快適性が向上し、乗用車として乗れるスーパーキャリアが登場したことでカスタム業界では今、軽トラの注目度が俄然高まっている。それは一部ユーザー向けだった軽トラカスタムが、遊びグルマとして一般ユーザーにも提案できるようなったから。スーパーD's Pickは軽トラカスタム界の盛り上がりの中で、中心的存在になるはずだ。